

不二家食品安全の日教育

2007年1月に期限切れ原料使用に端を発した一連の問題が起きたことから、毎年1月11日を「不二家食品安全の日」と定め教育を実施しています。この日は、過去の歴史と向き合い、「二度と起こしてはいけない」という思いを従業員一人ひとりが再認識し、決意を新たにします。この17年で社員の平均年齢は大きく若返り、一連の問題を経験していない社員が多くなりました。これからもさらに増えていく中で、「この問題を風化させないために、自分は今何をすべきか考える」ことを目的とした「教育」を行なっています。「不二家食品安全の日」の教育は、生産工場を中心にオンラインで実施し、リアルタイムで参加できなかった従業員に対しても動画配信にて実施しています。

◆教育内容

問題点と改善策	行政から指摘された問題点と改善策、ルールを守ることの重要性
2007年当時の体験談	2011年に作られた冊子「後輩たちに語り継ぐ体験談集」から当時のリアルな体験談を執筆した本人にインタビューして紹介
現在の取り組み事例	現在の食品安全に対する取り組みとしてアレルギー管理体制を紹介

この教育を通し、今自分の立場ですべきことを考え、回答する形式で実施しました。当時の事実を客観的に把握し、実際対応に当たった従業員の話を聞くことによって、経験していない従業員もより現実的に捉えることが出来ると考えています。

一連の問題は「工場で起こったこと」が起点となっていますが、「どこでも起こり得るリスクを持っている」と認識し、工場・営業・店舗・本部の垣根を越えた相互理解のもと、従業員一同「食の安全」への取り組みをさらに強化、継承していきます。



▲河村社長の講話

◆受講者の声

(菓子商品開発部 管理職)

管理職として部下にルールを守らせることと、なぜそのルールが出来たか、ルールを守らないとどうなるかということをよく話をして伝えていきたいと思っています。

VOICE

(洋菓子広域営業部 一般職)

社会の信頼を得るためにも法律を遵守し、ルールを学び勉強し続けなければならないと感じた。今でも2007年のことを覚えているお客様もたくさんいらっしゃると思うので、日々の製品作りや活動において誠意をもって働いていきたい。

VOICE

(菓子工場 一般職)

不二家の商品を自信を持っておすすめできるよう、一緒に仕事をしている仲間とルールを守り製品を作り続けていきたいと思っています。

VOICE

(フードサービス部 管理職)

当時、お客様からのお叱りを毎日のように受け、レストラン営業も困難な状況でした。決してこの事案を風化させないためにも、部下を含め、語り継ぎ、これからも日々の業務に邁進していきたいと思っています。

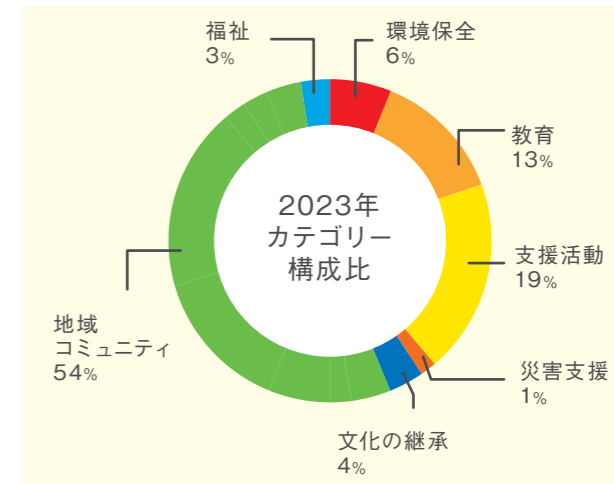
VOICE

社会貢献活動

◆考え方と活動実績

不二家を象徴する「ペコちゃん」や洋菓子店舗、レストラン、お菓子など、お客様に身近な企業としての優位性を最大限に活かしながら、地域社会との共栄・共存・調和を進めることが、持続的な企業の発展には重要であると考えています。

「不二家の価値観」や「サステナビリティ方針」に則った活動を推進し、不二家ならではのCSR活動に繋がっていくことで、社会から信用される企業を目指しています。地域社会との交流や啓発活動への協力、子ども達への支援活動に注力し、2023年は全社として141件のCSR活動に取り組みました。



◆活動事例

ペコちゃんが行く!不二家キャラバン隊

ペコちゃんがキャラバンカーに乗って幼稚園を訪問し、ダンスやクイズを行い子どもたちと触れ合うイベント「ペコちゃん行く!不二家キャラバン隊」が、約3年ぶりに再開されました。

2023年は東京都と埼玉県にある5施設、延べ568人の子ども達のもとを訪問し交流を図りました。“ペコちゃん”が、子ども達の思い出を彩る一つになれるようなイベントとして、今後も活動していきます。



ペコちゃんキッズアカデミー

2023年10月、15組17名の子どもたちとその保護者の方にご参加いただき、約4年ぶりに対面での「ペコちゃんキッズアカデミー」を開催しました。第11回となる今回は、不二家やミルクの製造工程を学ぶ「不二家の工場をのぞいてみよう」と、パッケージを活用した「お菓子かばんづくり」のプログラムを行いました。“食”を学び、家族や友人とたくさんの笑顔が生まれるイベントとして今後も活動していきます。



協力:東京都文京区「ワークスペースさきちゃんち」

元町ハロウィンフェスタ2023

2023年10月、不二家創業の地でもある横浜・元町にて「元町ハロウィンフェスタ2023」が開催されました。このイベントは「ありがとうの気持ちを伝える大切さ」を子ども達に体験してもらうことを目的の1つとして開催され、お菓子と子ども達を「ありがとう」の言葉で繋ぐ活動趣旨に賛同し、2007年から参加しています。当日は、仮装したペコちゃん、ポコちゃんが登場し、多くのお子様ご家族と交流を図りました。



文春マンガ読みとくシリーズ

株式会社文藝春秋の企画・制作のもと、「文春まんが読みとくシリーズ」の第9弾として、不二家を題材とした「ショートケーキ ここが知りたい!」を刊行しました。不二家のショートケーキに関する歴史や商品の魅力が1冊の学習まんがとしてまとめられたこの書籍は、全国約1万9,000の小学校図書室や特別支援学校1,300、小児病棟1,300、さらに主要公共図書館3,200ヶ所に寄贈されました。不二家のウェブサイトからも閲覧することができます。

▼「ショートケーキ ここが知りたい!」
https://www.fujiya-peko.co.jp/cake/bunshun-manga/#target/page_no=1



ムラサキパーク立川立飛

株式会社ムラサキスポーツが取り組む、若年アスリートの活躍が著しいアクションスポーツに励む次世代の子どもたちを教育・支援する活動に共感し、2023年7月にオープンした関東最大級のスケートパーク「ムラサキパーク立川立飛」にて開催するスケボー体験会に協力しています。

年間を通して「まみれさん presents ムラサキスポーツ スケートボード体験会」を開催し、年間約100回、延べ3,000人の参加を見込んでおり、スケートボードを始めるきっかけの扉、世界へはばたく飛躍の扉、新たな仲間と出会う憩いの扉、といった沢山の扉と子ども達を繋げる支援をしています。



横浜こどもホスピス

認定NPO法人横浜こどもホスピスプロジェクトが運営する、生命に関わる病気や状況で治療や療養生活を送るお子さまとご家族の「家族の時間」を支え、地域とのつながりを育むコミュニティ型の施設「横浜こどもホスピス〜うみとそらのおうち〜」の活動意義に賛同し、2021年から継続的に支援しています。

2023年4月には「こどもホスピス・ウィーク2023」が開催され、神奈川県内にある不二家レストラン8店舗のペコちゃん人形の胸にバッジを着用し、啓発活動に参加しました。また、12月のクリスマス会では、ケーキやギフト商品を提供し、イベントに協力しています。



◆他団体との取り組み

ゴールドリボンキャンペーン

早稲田大学ビジネススクール(WBS)と特定非営利活動法人キャンサーネットジャパン(CNJ)が取り組む、小児がん啓発活動に賛同し協力をしています。「世界小児がん啓発月間」である9月に、東京都にある洋菓子店舗、不二家レストランの22店舗にて、小児がん啓発リボンである「ゴールドリボン」ピンバッジをペコちゃん人形の胸に付け、啓発活動を実施しました。



こども宅食事業

子どもの貧困を解決するために東京都文京区とNPO法人などの6つの団体が協働スタートした「こども宅食」は、経済的に困窮している子育て世帯に食品を無償で届けることをきっかけに見守り、必要な支援につなげ、地域や社会からの孤立を防ぐことを目的としたプロジェクトです。お菓子を通じ「家族の絆づくりの応援」をしたいとの考えから、2017年より年6回の定期配送時にお菓子を提供しています。

また、株式会社日本アクセスと、こども宅食事業を行う認定NPO法人フローレンスが取り組む「企業と地域団体をつないで食品を子育て家庭に届ける」事業「こどもフードアライアンス」にも参画しました。



児童虐待防止啓発活動

2020年から神奈川県児童相談所と連携し、体罰未然防止普及啓発活動に協力しています。さまざまな普及活動により、大人だけでなく子どもにも体罰未然防止の認識を広げ、子どもが安心して生活できる環境を作ることを目的としています。2023年は子ども虐待防止のシンボルマークである「オレンジリボン」をたすきに見立てリレーをすることで、子どもの虐待防止を啓発する「オレンジリボンたすきリレー2023」の会場でペコちゃん、ポコちゃんが登場するクリアファイルを配布しました。また、神奈川県所管地域の公立小学校で配布する啓発カードにも、ペコちゃんとポコちゃんが登場しています。



チャイルド・スポンサーシップの参加

2020年より、特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン(WVJ)※の活動の一環である「チャイルド・スポンサーシップ」に参加しています。この活動は、途上国の子どもの健やかな成長のために、子どもを取り巻く環境を改善する長期的な支援を行い、子どもたちと地域の人々が「未来を切り拓く力」をつけられるように支えるものです。不二家はこの活動を通じて子ども達を支援しています。

※子どもたちとその家族、そして彼らが暮らす地域社会とともに、貧困や紛争、自然災害等のために困難な状況で生きる子どもたちを支える活動を行う、世界最大規模の国際NGOです。その日本組織として、設立されたのがワールド・ビジョン・ジャパンです。



写真提供: 特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン

ヤマザキ「ラブ・ローフ」募金

「食べ物や水がなくて苦しんでいる、世界の子どもたちを助けたい」との思いから、公益財団法人国際開発救援財団(FIDR)とWVJが共催し実施しているヤマザキ「ラブ・ローフ」募金に、2011年の東日本大震災の緊急援助募金から継続して協力しています。

全国の洋菓子店やレストランを中心に、本社、工場、菓子事業本部の各営業支店、関連会社などに募金箱を設置し、不二家グループとして実施しています。また、2023年2月にトルコ南東部で発生した大地震では、緊急援助募金にて被災地支援に取り組みました。

